

レヴォリューションは読書から！

八戸高専 環境都市・建築デザインコース 准教授 庭瀬一仁

今、色々な場所で革命、改革が求められています。さて、レヴォリューションの語源は、昔に戻す、の意味もあります。新しいことを創造するためには、昔を知る必要があります。過去を知って、未来を想像して、現在を考える。そんな今にヒントをくれそうな本の中から、面白かったものを選びました。



ソフィーの世界

ヨースタイン・ゴルデル

先ず1冊目は、世界中で翻訳され、異例の大ベストセラーとなった哲学の入門書。小説は西欧哲学の歴史とリンクしながら進んでいき、ギリシャ哲学から実存主義までを順を追って、たとえ話など交えつつわかりやすくおさらいできます。ちょっと厚い本ですが、哲学は苦手という人でも西洋哲学の大筋が理解できます！



武士道

新渡戸稲造

2冊目は、盛岡出身の新渡戸稲造著、「武士道」です。原著はとても難しいので、いくつか訳されている中から岬龍一郎訳を選びました。新渡戸稲造は、文明開化の日本が西洋化してゆく姿を見て、「日本人とはなにか」を問い直し、そして、「武士道」こそが、日本人の精神的支柱であり、それを世界に広く紹介することが日本のためになると考えました。日本人として、北東北人として、是非読んでおきたい1冊です！



日本を創った12人

堺屋太一

前編が聖徳太子、光源氏、源頼朝、織田信長、石田三成と徳川家康、後編が、石田梅岩、大久保利通、渋沢栄一、マッカーサー、池田勇人と松下幸之助の12人の偉業を解説しています。「日本の独自性」とは、いつ、誰が、いかにして創り上げたものなのか。日本の象徴的な「人物」から歴史を見直し、変革期の今、これらの何を伝統として残して、何を新たな創造によって乗り越えてゆくべきなのか、ヒントをくれる一冊です。



坂の上の雲

司馬遼太郎

大好きな司馬遼太郎から1つ選ぶのは難しいのですが、歴史を知るという観点で坂の上の雲を選びました。日本は、アジアで植民地支配を受けなかった数少ない国の一つです。日露戦争に破れていたなら、日本はどうなっていたでしょうか？日露戦争を勝利に導いた秋山好古・真之兄弟をはじめ近代国家誕生にかけた人々の姿を知ること、一生の専門性を持って真面目に生きることの素晴らしさを感じます。何度読んでも感動の一冊です。



2050年の世界

英「エコノミスト」編集部

広い視野を持つことと同じように、未来を見通すことも大切です。それは、とても難しいことですが、ある程度未来を見立てて将来を計画する必要があります。この本は、2050年までの世界を20の分野で大胆に予測しています。「日本のGNPは韓国の半分になる」「平均年齢は日本52歳、アメリカ40歳」。目を背けたくなることもたくさんありますが、より良い未来とするために何をすべきか、その考え方を教えてください。



100年予測

ジョージ・フリードマン

100年後の世界は、どんな状況になっているか考えたことがありますか？日本はどんな国になっているでしょうか？アメリカ、中国、そのほかの国は？地政学的手法を駆使してフリードマンが見通す未来は、今の世界からは信じられない予測ですが、その合理的で、的確な洞察力を学びたいものです。示唆に富む未来覇権地図の一つの予測を知ること、当たりはずれは別として、世界を見る目が変わる一冊です。



選択の科学

シーナ・アイエンガー

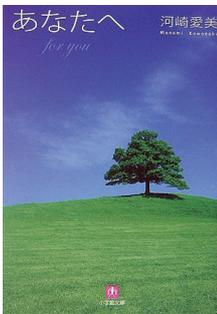
私たちは、日々、無意識も含めて多くの選択をしています。そして、この積み重ねが今の自分ということになります。この本は、「選択」とは何か？について楽しく学ぶことができます。たとえば動物園のアフリカ象の寿命（平均17歳）は、恵まれた環境にしながら野生のそれ（平均56歳）の三分の一以下です。これは「選択」ができないからだ、としています。何かの選択に迷っている人、ここにヒントがあるかも！



スタンフォードの自分を変える教室

ケリー・マクゴニガル

何かを成し遂げようとするとき、自分の意志の強さが試されます。この本は、この意志力を発揮するためのコツを教えてください。脳は、長い進化の過程で、差し迫った危険に対して即座に対応するように進化してきましたが、長期的な視野に立った意思決定は後回しにされるようにできています。この本能をかしこく封じ込めることができれば、自分を変えることができるというわけです。何かを成し遂げたいと考えている人、オススメです。



あなたへ

河崎愛美

ここまで堅苦しい本が続きましたから、最後の2冊は、単純に泣ける本と笑える本です。まずは、河崎愛美さんが八戸高専在学中に書いて、小学館文庫小説賞を受賞した小説です。学生が書いた本ということだけの興味で、軽い気持ちで読み始めたのですが、惹き込まれました。これは泣けます！私はこの本を新幹線で読んでしまったものですから、ポロポロ出てくる涙を隠すのに大変でした。一人の時に読むことをお勧めします。



雨の日も、晴れ男

水野敬也

最後に笑える本です。さてこの本、とても馬鹿馬鹿しいです。いろいろ勉強になる読書も勿論良いのですが、やはり読書は、単純に泣いたり笑ったりして楽しみたいものです。「夢をかなえるゾウ」で有名な水野敬也著で、3ページに1回は笑えます。とにかく前向きなアレックスの行動は、ツッコミどころ満載で単純に笑えます。でも、もしかしたら、「レヴォリューション」に一番大切なことをアレックスは教えてくれている？

八戸工業高等専門学校
環境都市・建築デザインコース 准教授

庭瀬一仁

2015年6月より、八戸高専 環境都市・建築デザインコース 准教授。
主な研究分野は、社会基盤整備に必要な不可欠な材料であるコンクリートの長期変質を研究して、コンクリート構造物の長寿命化と副産物の有効利用を開発しています。また、放射能を閉じ込めるバリア材料などへの適用を研究開発しています。



八戸ブックセンター
HACHINOHE BOOK CENTER

〒031-0033 青森県八戸市六日町 16-2 Garden Terrace 1F
TEL 0178-20-8368 FAX 0178-20-8218 web <https://8book.jp/>